

第26課 願望與感嘆：たいものだ／てほしいものだ・ものだ・ないもの（だろう）か・ものがある・ことだ・ことだろう／ことか

第26課對應《新完全マスター N2》第1部「III 主観を述べる（表達主観）」的第26課，也是第1部的最後一課，主題是「表達強烈的願望，以及感嘆、觸動的心情」。本課集中在もの與こと結尾的六個主觀句型：表達強烈願望的～たいものだ／～てほしいものだ、表達感嘆或回憶的～ものだ、懇切期盼的～ないもの（だろう）か、觸動感受的～ものがある、對某事感嘆的～ことだ，以及程度之深的感嘆～ことだろう／～ことか。要特別留意：這裡的～ものは「感嘆／回憶」的用法，與第23課的「道理、本來如此」、第24課的「應當、理應」要分清楚。

■ 今課目標

- 用～たいものだ／～てほしいものだ 表達發自內心或一般性的強烈願望、期望。
- 用～ものだ 表達「真是...啊」的感嘆，以及「以前常常...」的回憶。
- 用～ないもの（だろう）か 表達「難道不能...嗎」這種懇切的期盼。
- 用～ものがある 表達「有種...的感覺、確實有...之處」的觸動。
- 用～ことだ 表達對某件事「真是...啊」的感嘆。
- 用～ことだろう／～ことか 配合疑問詞，表達「多麼...啊」程度之深的感嘆。

一、～たいものだ・～てほしいものだ：真希望...、多想...

■ 發自內心的強烈願望

～たいものだ 表示說話人自己「真想...、多想...」這種強烈的願望；～てほしいものだ 則是「真希望（別人）...」這種強烈的要求、期望。比起單純的～たい／～てほしい，加上ものだ 後語氣更深、更帶感慨。用於發自內心的願望，或當作一般性的期望來說；若是當下具體的請求、要求，就不用這個說法。

■ 形式規則

動詞たい + ものだ／動詞て形・ない形 + て + ほしいものだ。用於發自內心或一般性的願望、期望；不用於當下具體的請求。

■ 例句

1. いつかは自分の店を持ち**たいものだ**。
→ 真希望總有一天能擁有自己的店。(動詞たい)
2. こんな名作なら、一度は劇場で**見たいものだ**。
→ 這樣的名作，真想在劇院裡看一次啊。(動詞たい)
3. 政治家には、もっと国民の声に耳を傾けて**ほしいものだ**。
→ 真希望政治家能多傾聽國民的聲音。(て形+ほしいものだ)
4. 子供たちには、失敗を恐れずに挑戦して**ほしいものだ**。
→ 真希望孩子們能不怕失敗地去挑戰。(て形+ほしいものだ)

二、～ものだ：真是...啊（感嘆）／以前常常...（回憶）

■ 感嘆，或對過去習慣的懷念

～ものだ 在本課有兩個方向。其一是「感嘆」：對某件事「強烈地有感、佩服或無奈」，意思接近「真是...啊」，常與表達主觀的形容詞或副詞（よく、ずいぶん 等）一起用，不用於說話人自己有意去做的行為。其二是「回憶」：用「動詞た形+ものだ」表示「(昔は) よく～したものだ」，懷念過去常常做的事；因為是講習慣，不能用在只發生過一次的事。注意這裡的感嘆／回憶，與第23課的「道理、本來如此」、第24課的「應當、理應」是不同用法。

■ 形式規則

感嘆：普通形（ナ形容詞+な）+ものだ，常配主觀形容詞或 よく・ずいぶん 等副詞。回憶：動詞た形+ものだ（昔はよく～したものだ），不用於一次性的事。與第23課道理、第24課應當的 ものだ 區分。

■ 例句

1. あの泣き虫がもう先生か。時の流れは早い**ものだ**。
→ 那個愛哭鬼竟然當老師了。時間過得真快啊。(感嘆)
2. こんな細かいミスに、よく気づいた**ものだ**。
→ 這麼細微的錯誤，竟然能注意到，真厲害啊。(感嘆)
3. 学生のころは、よく徹夜で語り合った**ものだ**。
→ 學生時代，以前常常通宵聊天到天亮。(回憶)
4. 祖母が元気だったころは、毎週この公園を散歩した**ものだ**。
→ 祖母還健康的時候，以前常常每週在這座公園散步。(回憶)

三、～ないもの（だろう）か：難道不能...嗎

■ 懇切地盼望能實現

～ないもの（だろう）か 表示「實現雖然不容易，但無論如何都希望能變成...這樣」，是一種懇切的願望、期盼，語氣接近「難道就不能...嗎」。前面接可能動詞，或不合說話人意志的動詞（治る、ある、なる等）；因為是「期盼某狀態自然發生」，而不是說話人自己決定要做。口語也常說成 ～ないものか／～ないものかな。

■ 形式規則

動詞ない形 + もの（だろう）か。接可能動詞或不合說話人意志的動詞（治る・買える・ある等）；表達懇切的期盼。

■ 例句

1. この渋滞、なんとか解消できないものか。
→ 這個塞車，難道就沒辦法解決嗎。（可能動詞）
2. 祖父の病気が、どうにかして治らないものだろうか。
→ 祖父的病，難道就沒辦法治好嗎。（無意志動詞）
3. 同じ性能で、もっと安く手に入らないものか。
→ 同樣的性能，難道不能再便宜一點入手嗎。（無意志動詞）
4. この古い建物を、壊さずに残せないものだろうか。
→ 這座老建築，難道不能不拆而保留下來嗎。（可能動詞）

四、～ものがある：有種...的感覺

■ 心裡確實被觸動

～ものがある 表示「(從某件事) 確實感受到一種...的東西、有種...的感覺」，用來說出心裡被觸動的感受。前面接表達感想的詞（つらい、すばらしい、感動的だ等）；後句是說話人對眼前事物的評價、感觸，語氣比直接說「つらい」更含蓄、更有餘韻。

■ 形式規則

普通形現在（ナ形容詞+な）+ もものがある。接表達感想的詞（つらい・すばらしい・感動的だ等）；說出心裡被觸動的感受。

■ 例句

1. 毎日往復三時間も通勤するのは、やはりつらいものがある。
→ 每天來回花三小時通勤，果然有種吃不消的感覺。
2. あれだけ努力したのに選ばれなかったとは、悔しいものがある。
→ 那麼努力卻沒被選上，確實有種不甘心之處。
3. 彼の演奏には、聞く人の心を打つものがある。
→ 他的演奏，有種打動聽眾內心的力量。
4. 長年通った店が閉まると聞くと、寂しいものがある。
→ 聽說常去多年的店要關門，確實有種寂寞的感覺。

五、～ことだ：真是...啊（感嘆）

■ 對某件事直接發出感嘆

～ことだ 表示對某件事「真是...啊」的感嘆，可帶驚訝、感動，也可帶諷刺。前面接表達說話人主觀的形容詞（イ形容詞い／ナ形容詞な）；有時也接像形容詞般用的動詞「た形」（困った、あきれた 等）。和第24課表「應當、忠告」的～ことだ 不同，這裡純粹是抒發感嘆。

■ 形式規則

イ形容詞い／ナ形容詞な + ことだ（也可接形容詞般的動詞た形，如「困ったことだ」）。接表達主觀的形容詞；抒發感嘆，與第24課忠告的 ことだ 區分。

■ 例句

1. 困っている人に、何も言わず手を貸せるとは、立派なことだ。
→ 能對有困難的人二話不說伸出援手，真是了不起啊。（ナ形容詞な）
2. こんな夜中に何度も電話してくるとは、迷惑なことだ。
→ 三更半夜還一直打電話來，真是叫人困擾啊。（ナ形容詞な）
3. 家族みんなが元気でいてくれるのは、本当にありがたいことだ。
→ 全家人都健健康康的，真是值得感恩啊。（イ形容詞い）
4. 連絡もせずに約束を破るなんて、まったく困ったことだ。
→ 連聲招呼都不打就爽約，真是傷腦筋啊。（動詞た形）

六、～ことだろう・～ことか：多麼...啊

■ 配合疑問詞，強調程度之深

～ことだろう／～ことか 表示「非常地...、不知有多麼...啊」，用來強調程度之深，是書面、帶感慨的講法。常與表示程度的疑問詞（どんなに、どれほど、何回 等）或「なんと、いったい」一起使用。前面接普通形（ナ形容詞＋な／＋である，名詞＋である）。整句不是真的在發問，而是把強烈的感嘆說成反問的形式。

■ 形式規則

疑問詞 + 普通形（ナ形容詞＋な／＋である、名詞＋である）+ ことだろう／ことか。常配 どんなに・どれほど・何回 等程度疑問詞或「なんと・いったい」。語氣書面、帶感慨。

■ 例句

1. 合格の知らせを聞いて、母はどんなに喜んだことだろう。
→ 聽到合格的通知，母親不知有多麼高興啊。（どんなに＋動詞）
2. 一人で異国に渡った祖父は、どれほど心細かったことか。
→ 獨自遠渡異國的祖父，當年不知有多麼不安啊。（どれほど＋イ形容詞）
3. 「無駄遣いはやめなさい」と、母に何度言われたことか。
→ 「別亂花錢」這句話，被母親說過多少次啊。（何度＋動詞）
4. 離れて暮らす君のことを、ご両親はいったいどんなに案じていることだろう。
→ 對於分隔兩地的你，你父母究竟有多麼掛念啊。（いったい・どんなに＋動詞）

七、常見錯誤與總整理

ものだ（感嘆／回憶）・ことだ・ことか 的分別

句型	核心意思	接續／搭配
～ものだ（感嘆）	真是...啊（強烈有感、無奈）	普通形（ナ形＋な）；配 よく・ずいぶん 等
～ものだ（回憶）	以前常常...（懷念過去習慣）	動詞た形；不用於一次性的事
～ことだ（感嘆）	對某事「真是...啊」	イ形い／ナ形な（也接困った 等た形）
～ことだろう／ことか	多麼...啊（強調程度之深）	疑問詞＋普通形；配 どんなに・何回 等

■ 常見錯誤

- **×** 明日こそ早く起きたいものだ。
○ **いつかは自分の店を持ちたいものだ。**
たいものだ 用於發自內心或一般性的願望；像「明天要早起」這種當下、具體的打算，直接用～たい 就可以。
- **×** 昨日、駅前で偶然先生に会ったものだ。
○ **学生のころは、よく駅前で先生に会ったものだ。**
回憶的～ものだ 講的是過去「常常」做的習慣（配 よく 等），不能用在只發生過一次的事。
- **×** 母の病気が早く治さないものか。
○ **母の病気が早く治らないものか。**
ないもの（だろう）か 接可能動詞或無意志動詞（治る）；不接他動詞的意志形式（治す）。
- **×** 毎日の長い通勤は、つらいものだ。
○ **毎日の長い通勤は、つらいものがある。**
想說「確實有種...的感覺」這種被觸動的感受時用～ものがある；～ものだ 是感嘆「真是...啊」，語感與焦點不同。
- **×** 母はとても喜んだことだ。
○ **母はどんなに喜んだことだろう。**
要表達「多麼...啊」程度之深的感嘆，用 ことだろう／ことか，且須配 どんなに・どれほど 等疑問詞；只說 ことだ 無法表達這種程度的感慨。

自己輸出：用 たいものだ／てほしいものだ・ものだ（感嘆與回憶）・ないもの（だろう）か・ものがある・ことだ・ことだろう／ことか 各寫一句。可寫一個發自內心的願望、一段學生時代的回憶，或一句對某事的感嘆。
